




だいじ  
おたがいを大事にするのが「インクルーシブ」

「<sup>ささ</sup>支えあ<sup>ちいき</sup>う<sup>しゃがい</sup>地域社会へ「<sup>ぶんか</sup>インクルーシブ<sup>だいい</sup>」<sup>だん</sup>って<sup>おこな</sup>な<sup>おこな</sup>あに？」をテーマに文化のまちづくりセミナー第16弾が行われま

した。パート1は9月27日(土)飯野由里子さんによる「<sup>ワン</sup>劇場<sup>がつ</sup>での<sup>にち</sup>合理的<sup>ど</sup>配慮<sup>いい</sup>」<sup>ゆりこ</sup>。パート2は11月16日(日)鈴木京子<sup>げきじょう</sup>さんによる「<sup>ごうりてき</sup>現場<sup>はいりよ</sup>で<sup>は</sup>活<sup>は</sup>き<sup>は</sup>る<sup>は</sup>視<sup>し</sup>点<sup>てん</sup>と<sup>じっせん</sup>実践<sup>つう</sup>ポイント<sup>が</sup>」<sup>にち</sup>。パート2は11月16日(日)鈴木京子<sup>すずき</sup>さんによる「<sup>きょうこ</sup>障害<sup>しょうがい</sup>のある<sup>ひと</sup>人<sup>さんか</sup>が<sup>きかく</sup>参加<sup>きかく</sup>する<sup>きかく</sup>ための<sup>きかく</sup>企画<sup>きかく</sup>づくり<sup>きかく</sup>」というタイトルで

2人の講師にお話いただきました。



飯野さんは『合理的配慮』というのは、「困ったことがあって、手助けしてほしいことがあれば、それが無理なことではなくて周りの人ができそうなことなら、頼んでみよう」ということでした。例えば、クラスで席がえした時に、「目が



パート1の講演会の講師はリポート登壇でした。



パート2の講演会ではしゃべった言葉が文字になるソフトを使いました

むる　　こくばん　　とお　　せき　　こま　　すこ　　まえ　　こえ  
 悪くて黒板から遠くの席では困るので少し前にしてほしい」という声があっ  
 たら、皆さんのクラスはどうですか？劇場では前もって、車いす席は階段  
 を使わずに行けるところに用意してあります。皆さんのクラスでも、初めか  
 ら遠くが見づらい人がいることが分かっていたら、その人の席を取ってあ  
 るかもしれませんね。それも、いつも同じ席にならないように考えているか  
 もしません。でも、それはそういう友だちがいると知っているからできる  
 ことです。やっぱり、友だちと実際に話してみないと分からないことです。

すずき うつく み き だれ はな じぶん こころ おも  
 鈴木さんは、「美しいものやすごいものを見たり聞いたりしたときは誰かに話したいし、自分が心に思っていること  
 かん じぶん あらわ だれ おも はな とき ちょうかくしやう こ  
 とや感じていることを自分なりに表してみたいと誰もが思っている」と話していました。ある時、聴覚障がいの子  
 ぶたい み かんどう じぶん い  
 が舞台上で見たダンスパフォーマンスに感動して、「自分もみんなとダンスをしたい」と言ってきたそうです。そこで、  
 すずき ひと かんが ねが さんか  
 鈴木さんはたくさんの人とどうやったらできるか考えて、ダンサーにお願いしてだれでも参加できるダンスワーク  
 ひら い ひと こ ねん あいだ いっしやうけんめい れんしやう ことし がつ  
 ショップを開きました。ダンスをしたいと言っていた人は、その後、16年の間一生懸命に練習して、今年の12月に  
 とうきやう げきじやう しゅつえん げき ちょうかくしやうがい とも  
 東京の劇場でダンサーとして出演するそうです。クラスみんなで劇をすることになったとき、聴覚障害の友だちが  
 げき つく かんどう ひやうげん ひと たいせつ わたし こころ せいかつ ゆた  
 いたらどうやって劇を作りますか？感動と表現はどんな人にも大切で、私たちの心と生活を豊かにしてくれます。

障がいがあってもなくても、誰もがみんな安心して自分らしくいろいろなことに参加できるように、おたがいを

大事にするのが「インクルーシブ」ですよ、お二人はきっと、言っていたと  
おもいます。エヌビーオー マサマサ とくはいん  
NPOたけとよ MASAMASA 特派員

\*\*\*<sup>らいじょうしゃ</sup>来場者<sup>いちぶ</sup>アンケート<sup>しょうかい</sup>を一部ご紹介いたします\*\*\*

■パート1アンケートより ▶具体的な事例での話でわかりやすかったです。

しょうがいしゃ　ようきゅう　　ようきゅう　　じつげん  
障害者が要求することは、とかくわがままととられやすいが、要求を実現する  
ことしゃがい　ゆたで社会を豊かにすることができ、心こころ　とに留めておきます。(70代)▶  
しょうがい　ひと　こえ　　しゃがい　はや  
障害のある人たちがもっと声をあげてもいい、あげやすい社会に早くなる  
ことねが　にちじょう　せいかつ　なか　こえ　せきよくてき　おもを願うばかりです。日常生活の中でも、声かけを積極的にしたいと思い

ました。(50代) ■パート2アンケートより ▶会館との関わり方の問題点  
 も感じつつ、逆にできることから行動することで障害の方の可能性の大切  
 さを学びました。(30代) ▶環境や人によって障壁があることを改めて知る  
 ことができ、今後支援に入る時に意識を高めていきたいと思  
 いました。(20代)

[illegible]

じかい こ けんり はなし さんか うけつけちゅう  
次回は「子どもの権利」のお話です。参加受付中

